



高崎経済大学地域科学研究所

2017（平成29）年度第2回公開講演会

現場で考える地域再生

ー福岡県うきは市と群馬県下仁田町での取り組みからー

1700を超える自治体が2015年に地方版総合戦略を策定し3年が経過しようとしている。多くの自治体が総合戦略をもとに地域再生の取り組みを進めているが、そもそも「地方創生」とは何か。

その原点に迫るべく、地方創生の現場指揮を執る下仁田町副町長としての考え、現場主義をモットーに福岡県うきは市職員として、JR九州豪華寝台列車「ななつ星 in九州」や「スイーツコレクション」など先駆的な「地域再生」の現場経験から見える地方の現実と現場の声、総務省地域力創造アドバイザーとして全国の地域づくりや地域再生の取り組みについて事例を交えながら考えていく。

講師：吉弘 拓生 氏
(下仁田町副町長・総務省地域力創造アドバイザー)

日時：平成29年12月5日（火）
14時20分～15時50分

場所：高崎経済大学図書館ホール

*** 入場無料・事前予約不要**

《講師プロフィール》 吉弘 拓生（よしひろ たくお）

1981年福岡県生まれ。2000年FMラジオDJ、団体職員、うきは市職員を経て、2015年4月から群馬県下仁田町副町長。国家公務員が地方創生人材支援制度で派遣される中、地方間の独自の取り組みとして他自治体の現役地方公務員を副町長として招くという日本初の試み。就任時は日本最年少副町長。総務省地域力創造アドバイザーとして全国で地域活性化に向けた講演も行う。

2015年上毛新聞社オピニオン21委員、2017年1月に西日本新聞社「ここで生きるネット」50人、2017年4月Forbes JAPAN特集で日本を元気にする88人、スーパー公務員12人に選ばれる。

《お問合せ先》 高崎経済大学地域科学研究所

(事務局 研究グループ研究支援チーム)

電話：027-344-6267

E-mail：chiikikagaku@tcue.ac.jp